

水産技術センター試験・研究課題事前評価表

試験・研究課題名：琴川ダム貯水池湛水直後の環境及び魚類相

大課題名：資源管理技術の開発

小課題名：漁場有効利用調査

細目課題名：人工湖の水産利用に関する調査

担当者名：研究員 岡崎 巧

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	ダム湖の利用に関しては、多くの目的があり、そのベースになるものが必要。水産利用に関するものも必要である。
2 課題の新規性、独創性	4 / 5	標準的な調査であり、特段のものはない。
3 目的・内容の整合性、妥当性	5 / 5	調査目的と合致しているものと認められる。
4 研究手法の的確性、技術的可能性	5 / 5	調査方法としては妥当である。
5 成果の期待度	4.5 / 5	調査結果から魚の成育、特にワカサギの可能性に関して知りたい。
総合評価	4.8 / 5	特殊なダム湖としてももう少し詳しく調べてもよい。継続調査が必要。外来魚を持ちこませない対策についても検討が必要である。

「注」評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

これを機会に、他の天然湖、ダム湖、溜池などについても、継続的な調査を実施できるよう、改めて検討したい。